

表128 死亡事例の要約①

行方不明時の年齢	行方不明者の性別	Barthel Index 合計得点(空欄は計算不可)	IADL 合計得点(空欄は計算不可)	認知症高齢者の日常生活自立度	行方不明時の居所	老老介護(施設・病院は非該当)	要介護認定の結果(非該当は未申請)	認知症の診断名(空欄は診断を受けていない/わからない/無回答)	FAST	これまでの行方不明回数	行方不明になった季節(空欄は複数回答)	行方不明になった時間帯(空欄は複数回答)	行方不明になる危機感	行方不明になった場所(居所が施設等で「自宅から」は一時帰宅中の行方不明)	行方不明後、警察に行方不明届が出るまでの期間	警察以外での捜索活動開始時期	行方不明後、発見までの期間	発見した人(「その他の者」は捜索に参加していなかった人、調査票では「上記以外」)	発見された場所	死因(死因が明記されていない場合、海や川で発見されたものは水死とした)
1	80~84歳	男性			わからない	自宅 一人暮らし	わからない	非該当	ステージ1	わからない	春	わからない	わからない	わからない	1週間以内	3~4日目に開始	1ヶ月以内	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	
2	75~79歳	男性	100	3	I	自宅 同居者あり	そうではない	要支援1	ステージ2	無回答	夏	16~20時	感じていた	自宅から	当日	翌日開始	1週間以内	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	病気
3	80~84歳	女性		1	III	施設 グループホーム	非該当	要介護4	ステージ6	3回	冬	4~8時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1週間以内	実際に捜索に参加した者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	事故
4	85~89歳	女性	95		I	自宅 同居者あり	無回答	要介護4	ステージ7	2回	冬	わからない	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	低体温症
5	65~69歳	女性	100	7	I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ3	1回	夏	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	1ヶ月以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	
6	80~84歳	男性	60	0	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ7	1回	秋	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	溺死
7	75~79歳	女性	100	8	I	自宅 一人暮らし	そうではない	非該当	ステージ1	無回答		わからない	感じていなかった	自宅から	3~4日目	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(0)自宅内	病気
8	80~84歳	男性	90	3	II	病院 一般病床	非該当	要支援2	ステージ4	2回	夏	8~12時	感じていた	それ以外から	当日	当日開始	当日	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	病気
9	70~74歳	女性	100	1	II	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2	ステージ2	1回	秋	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	半年以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	凍死
10	70~74歳	男性	100	3	II	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ6	1回	秋	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	3~4日目	その他の者	(5)4より遠いが、県内	溺死
11	80~84歳	男性	100	5	自立	自宅 同居者あり	そうである	要支援2	ステージ1	無回答	夏	12~16時	感じていなかった	自宅以外から	翌日	翌日開始	3~4日目	その他の者	(5)4より遠いが、県内	
12	80~84歳	女性	85	4	I	自宅 同居者あり	そうではない	要介護1	ステージ7	1回	冬	12~16時	感じていなかった	自宅から	翌日	翌日開始	1ヶ月以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	低体温症
13	65~69歳	女性		3	M	自宅 同居者あり	そうである	非該当	ステージ6	3回	春	20~24時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	事故
14	80~84歳	女性		4	II	自宅 同居者あり	そうである	非該当	ステージ4	2回	夏	12~16時	感じていなかった	自宅から	翌日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	溺死
15	80~84歳	女性		0	IV	自宅 同居者あり	そうである	要介護3	ステージ6	4~10回	春	0~4時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	1年以内	実際に捜索に参加した者	(6)県外	溺死
16	80~84歳	男性	90	3	I	自宅 同居者あり	そうではない	要介護5	ステージ2	1回	春	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	1週間以内	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	低体温症
17	70~74歳	女性	95	4	I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ4	1回	春	12~16時	感じていた	自宅から	当日	翌日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	事故
18	80~84歳	女性		4	IV	自宅 同居者あり	そうである	要支援1	ステージ5	1回	冬	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	水死
19	85~89歳	男性	90	4	自立	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ6	無回答	秋	16~20時	感じていなかった	それ以外から	当日	当日開始	1ヶ月以内	無回答	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
20	75~79歳	女性	100	4	II	自宅 同居者あり	そうである	非該当	ステージ2	1回	春	8~12時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	その他の者	(5)4より遠いが、県内	凍死
21	80~84歳	女性	75	2	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ6	1回	夏	8~12時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1年以内	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
22	75~79歳	女性		1	III	自宅 同居者あり	そうである	わからない	ステージ2	1回	秋	0~4時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	溺死
23	75~79歳	男性		3	III	自宅 同居者あり	そうである	要支援2	ステージ5	4~10回	夏	0~4時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	その他の者	(5)4より遠いが、県内	
24	70~74歳	女性	85	3	II	自宅 一人暮らし	そうではない	要介護3	ステージ7	4~10回	夏	16~20時	感じていなかった	自宅から	翌日	翌日開始	1週間以内	わからない	(1)自宅の付近	
25	80~84歳	男性	90	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	要支援1	ステージ3	1回	秋	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	
26	65~69歳	男性		0	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護5	ステージ6	4~10回	春	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	低体温症
27	80~84歳	女性	95		II	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ3	無回答	わからない	16~20時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	低体温症
28	85~89歳	女性		5	I	自宅 一人暮らし	そうではない	要介護1	ステージ3	1回	冬	わからない	感じていなかった	自宅から	わからない	当日開始	わからない	届出した家族	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
29	80~84歳	男性	95	1	II	自宅 同居者あり	そうではない	要支援1	ステージ4	2回	春	8~12時	感じていた	自宅から	当日	行われなかった	翌日	その他の者	(4)3より遠いが町村内	溺死
30	70~74歳	女性		1	III	自宅 同居者あり	そうである	無回答	ステージ4	4~10回	冬	20~24時	感じていた	自宅から	当日	行われなかった	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	事故
31	75~79歳	女性	55	3	III	自宅 同居者あり	そうである	要介護3	ステージ6	3回	春	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	届出した家族	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	事故
32	70~74歳	女性		0	M	自宅 同居者あり	そうではない	要介護4	ステージ6	3回	冬	0~4時	感じていた	自宅から	当日	翌日開始	1ヶ月以内	その他の者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
33	80~84歳	女性	85	8	I	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ7	2回			感じていた	自宅から	当日	翌日開始	1ヶ月以内	実際に捜索に参加した者	(6)県外	低体温症
34	75~79歳	女性		2	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ6	3回	冬	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	その他の者	(4)3より遠いが町村内	事故
35	90~94歳	男性	45		IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2	ステージ5	無回答	冬	0~4時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
36	80~84歳	女性		0	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2	ステージ7	4~10回	秋	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	病気
37	75~79歳	女性	80	0	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2	ステージ5	4~10回	夏	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	溺死
38	80~84歳	男性	100	2	I	自宅 同居者あり	そうである	非該当	ステージ3	4~10回	冬	12~16時	感じていた	それ以外から	翌日	当日開始	3~4日目	その他の者	(5)4より遠いが、県内	凍死
39	75~79歳	男性		5	I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ2	無回答	冬	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	3~4日目	実際に捜索に参加した者	(5)4より遠いが、県内	
40	75~79歳	男性	60	2	IV	自宅 同居者あり	そうである	申請中	ステージ6	1回	秋	0~4時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	事故
41	75~79歳	男性	100	4	I	自宅 同居者あり	そうである	非該当	ステージ2	1回	夏	12~16時	感じていなかった	それ以外から	翌日	当日開始	半年以内	わからない	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
42	65~69歳	女性	85	2	M	自宅 同居者あり	そうである	要介護5	ステージ4	11~20回	春	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	わからない	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	水死
43	80~84歳	男性	95	2	III	自宅 同居者あり	そうである	要介護1	ステージ5	1回	秋	16~20時	感じていた	自宅から	当日	翌日開始	翌日	その他の者	(5)4より遠いが、県内	溺死
44	80~84歳	女性		0	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ6	1回	冬	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
45	85~89歳	男性	100	3	I	自宅 同居者あり	そうである	要介護2	ステージ3	1回	冬	0~4時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	凍死
46	80~84歳	女性	85		III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2	ステージ5	1回	春	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	溺死
47	75~79歳	男性	85		I	自宅 一人暮らし	そうである	わからない	ステージ6	1回	冬	16~20時	感じていなかった	自宅から	翌日	翌日開始	1年以内	その他の者	(6)県外	事故
48	70~74歳	女性	100	1	II	自宅 同居者あり	そうである	非該当	無回答	4~10回	わからない	12~16時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	病気
49	75~79歳	男性	100	3	I	自宅 同居者あり	そうである	要介護1	ステージ3	1回	秋	8~12時	感じていなかった	自宅から	翌日	無回答	3~4日目	その他の者	(4)3より遠いが町村内	
50	75~79歳	男性	95	1	自立	自宅 一人暮らし	そうではない	無回答	ステージ2	わからない	冬	わからない	感じていなかった	自宅から	翌日	翌日開始	半年以内	その他の者	(5)4より遠いが、県内	
51	75~79歳	女性	100	8	自立	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ1	1回	春	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	半年以内	その他の者	(6)県外	溺死
52	85~89歳	女性	95	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ2	1回	冬	わからない	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	
53	85~89歳	男性	75	0	IV	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ6	2回	冬	0~4時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	その他の者	(1)自宅の付近	凍死
54	90~94歳	女性	85	2	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護4	ステージ6	無回答	冬	0~4時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	その他の者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	溺死
55	80~84歳	女性	95	6	I	自宅 同居者あり	そうである	要介護1	ステージ6	3回	冬	8~12時	感じていた	自宅から	当日	翌日開始	1週間以内	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	凍死
56	65~69歳	女性	65	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	ステージ6	わからない	冬	12~16時	感じていた	自宅付近から	当日	当日開始	3~4日目	その他の者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	低体温症
57	80~84歳	男性			自立	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ2	1回	秋	4~8時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	3~4日目	その他の者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
58	65歳未満	女性	100	8	I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ3	無回答	夏	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	実際に捜索に参加した者	(5)4より遠いが、県内	その他
59	80~84歳	女性	70	0	II	自宅 同居者あり	無回答	要介護3	ステージ6	3回	春	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	凍死
60	80~84歳	女性	90	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	ステージ2	1回	夏	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	溺死

表129 死亡事例の要約②

行方不明時の年齢	行方不明者の性別	Barthal Index 合計得点(空欄は計算不可)	IADL 合計得点(空欄は計算不可)	認知症高齢者の日常生活自立度	行方不明時の居所	老老介護(施設・病院は非該当)	要介護認定の結果(非該当は未申請)	認知症の診断名(空欄は診断を受けていない/わからない/無回答)	FAST	これまでの行方不明回数	行方不明になった季節(空欄は複数回答)	行方不明になった時間帯(空欄は複数回答)	行方不明になる危機感	行方不明になった場所(居所が施設等で「自宅から」は一時帰宅中の行方不明)	行方不明後、警察に行方不明届が出されるまでの期間	警察以外での捜索活動開始時期	行方不明後、発見までの期間	発見した人(「その他の者」は捜索に参加していなかった人、調査票では「上記以外」)	発見された場所	死因(死因が明記されていない場合、海や川で発見されたものは水死とした)	
61	85~89歳	女性	80	1	II	自宅 同居者あり	そうではない	要支援2		ステージ6	無回答	春	わからない	感じていなかった	自宅から	翌日	翌日開始	半年以内	その他の者	(1)自宅の付近	凍死
62	75~79歳	女性	65	3	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2		ステージ6	1回	冬	0~4時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	溺死
63	85~89歳	男性	90	2	II	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2		ステージ6	1回	秋	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	凍死
64	85~89歳	男性	90		M	施設 特養	非該当	要介護2		ステージ6	4~10回	冬	16~20時	感じていた	それ以外から	当日	翌日開始	1ヶ月以内	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	水死
65	80~84歳	男性			IV	自宅 同居者あり	そうである	要介護3		ステージ6	1回	冬	20~24時	感じていなかった	それ以外から	当日	翌日開始	半年以内	その他の者	(5)4より遠いが、県内	
66	70~74歳	男性	100	2	II	自宅 同居者あり	そうである	非該当		ステージ3	1回	秋	12~16時	感じていた	自宅から	当日	行われなかった	3~4日目	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	事故
67	90~94歳	女性	70		III	自宅 一人暮らし	そうである	要介護3		ステージ6	3回	春	4~8時	感じていた	自宅付近から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	凍死
68	80~84歳	女性	90	6	I	自宅 同居者あり	そうではない	要支援1		ステージ6	1回	冬	12~16時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	その他の者	(5)4より遠いが、県内	水死
69	65~69歳	男性	100	5	自立	自宅 同居者あり	そうではない	非該当		ステージ1	無回答	冬	12~16時	感じていなかった	それ以外から	翌日	1か月より後	半年以内	その他の者	(6)県外	凍死
70	75~79歳	男性	90	3	I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当		ステージ6	2回		8~12時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	当日	その他の者	(5)4より遠いが、県内	
71	65~69歳	男性	85		I	自宅 一人暮らし	そうではない	非該当		ステージ3	わからない	冬	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
72	75~79歳	女性	100	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3	アルツハイマー病	ステージ5	無回答	冬	無回答	感じていた	自宅から	翌日	当日開始	1週間以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	低体温症
73	90~94歳	女性	75	3	III	自宅 一人暮らし	そうではない	要介護2	認知症とだけ診断	ステージ6	4~10回	春	12~16時	感じていた	自宅から	翌日	翌日開始	翌日	その他の者	(4)3より遠いが町村内	
74	75~79歳	男性	100	2	III	施設 その他施設	非該当	要介護2		ステージ6	4~10回	冬	16~20時	感じていた	それ以外から	翌日	当日開始	1年以上	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	凍死
75	70~74歳	女性			I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当		ステージ2	3回	冬	12~16時	感じていた	自宅から	翌日	わからない	1週間以内	その他の者	(4)3より遠いが町村内	溺死
76	75~79歳	女性	100	3	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護1	アルツハイマー病	ステージ6	1回	秋	4~8時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	当日	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
77	75~79歳	男性			I	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	アルツハイマー病	ステージ7	1回	春	12~16時	感じていなかった	自宅から	当日	当日開始	1週間以内	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	
78	80~84歳	女性	65	0	IV	自宅 同居者あり	そうである	要介護3	アルツハイマー病	ステージ6	1回	冬	12~16時	感じていた	それ以外から	当日	当日開始	3~4日目	実際に捜索に参加した者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	水死
79	70~74歳	男性			II	自宅 同居者あり	そうである	非該当		無回答	2回	春	20~24時	感じていなかった	自宅から	当日	翌日開始	1ヶ月以内	その他の者	(5)4より遠いが、県内	水死
80	75~79歳	男性	95		II	自宅 同居者あり	無回答	要介護1		ステージ6	3回	冬	16~20時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	3~4日目	実際に捜索に参加した者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	
81	75~79歳	女性	100	4	II	自宅 同居者あり	そうではない	非該当		無回答	1回	春	4~8時	わからない	自宅から	当日	当日開始	翌日	無回答	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	水死
82	70~74歳	女性	80	2	I	自宅 同居者あり	そうである	要支援1	認知症とだけ診断	ステージ1	2回	春	0~4時	感じていなかった	自宅から	当日	無回答	半年以内	その他の者	(2)自宅の付近よりは遠いが近所	
83	75~79歳	男性	95	4	II	自宅 同居者あり	そうである	要介護3		ステージ6	3回	冬	20~24時	わからない	自宅から	翌日	行われなかった	翌日	実際に捜索に参加した者	(1)自宅の付近	
84	75~79歳	男性	55	0	III	自宅 同居者あり	そうではない	要介護3		ステージ6	1回	夏	わからない	感じていた	自宅から	当日	当日開始	1ヶ月以内	その他の者	(3)2より遠いが、およそ普段移動する範囲	溺死
85	80~84歳	女性	70	0	IV	自宅 同居者あり	そうではない	要介護2		ステージ2	3回	わからない	わからない	感じていなかった	それ以外から	当日	当日開始	1週間以内	実際に捜索に参加した者	(4)3より遠いが町村内	溺死
86	80~84歳	女性	95	5	II	自宅 同居者あり	そうではない	非該当	アルツハイマー病	ステージ4	1回	冬	12~16時	感じていた	自宅から	当日	当日開始	翌日	その他の者	(4)3より遠いが町村内	その他
87	75~79歳	男性	90	3	II	自宅 同居者あり	そうではない	要支援2	アルツハイマー病	ステージ5	3回		8~12時	無回答	それ以外から	当日	当日開始	3~4日目	その他の者	(5)4より遠いが、県内	

## 資料 1. 家族調査自由記述

※自由記述は個人情報・固有名詞などを削除あるいは修正している。また、原則として記載されたまま掲載し、誤字脱字などの修正は行っていない。なお、固有名詞は修正の上でデータを提供されているので「●」と、判別不能の部分は「？」としてある。

問 13. 住まいに関する特記事項

1. 自宅アパート大家
2. 県営アパート4階で歩行が大変ですやっとなです。仲々思うように他の住まいに行けません。
3. 2013年10月、平屋を新築したが全く入居せず。
4. 自宅に在るのに夕方になると布団を玄関に持っていき帰りたいと言って座り込んでしまう。
5. 老朽化、伴侶が深刻なアルコール依存状態
6. 妄想性のうつ病と言われて前に同居していた所から別の場所へきた。
7. 車庫の取り崩し、植木の切り倒し
8. 普通に毎日暮らしていた。ただし、夕食のみ家族全員で食べていた。
9. 引越す前に住んでいた所でも徘徊があり、何回も家族で捜し歩いた事あり。
10. 自宅を自分の家だと思っていない。
11. 主に妻とまご（女の子）のくらしです。
12. 現住居には10年前に転居。行方不明発生時期より4年前頃から言動の異常が始まった様に記憶する。
13. 一人暮らしだったため、私（娘）夫婦との同居により、混乱したことが多かったと思います。（住まいの環境の変化）
14. 90歳になる本人の妻は、老人性妄想症で精神科への入院歴あり
15. 75歳過ぎてから、家に物がふえて、ごみ屋敷のようになり、家族で片づけたことがありました。
16. 夜間のトイレの場所やスイッチの位置が分からないようになってきたので、対策を考え中です。足腰も弱ってきているので、バリアフリー住宅はとても便利に思います。（李ホームしたいですが、お金の余裕なくできません）
17. 住まいには、老夫婦の2人ですが、隣接した家に息子夫婦（60歳）が住んでおります。何かあればすぐ連絡をとりあっています。
18. 清潔好きな人であったが、認知症が出始めたからは住まいの中が雑多になっていた。（子がなく、妻にも先立たれ一人暮らしだった。）
19. 毎日、元の家に戻りたがる。
20. 問8にも記入しましたが、玄関前の庭木を大家さんがすべて切り、風景が一変した。（数日前に）同居していたわたしにしては、少しずつ変えていきかけた。
21. 数年前、実妹の離婚した旦那も認知症の為一緒に住んで生活していたが、徘徊し行方不明となり翌日数キロ離れた県外で遺体で発見された。
22. 80年以上住みなれた住まいから●のため転居せざるをえなかった。
23. 本人が認知（若年性）で本人の父も65歳より前に認知であった。本人の母もアルツハイマーの認知である。
24. 一戸建てなので外に出るドア、窓が多く家族が気づかない時外に出る事があった
25. 自分の家でも、それが認識できない事がたびたびある。
26. 自分の家では自分のことはしていた。自宅の前に義理の弟の家があり気にかけてもらっていた。一人暮らしだったがそれも自分の家がいいというので、時々私の家につれて帰っていた。後でわかったが、妄想がある認知症だったので時々すぐ近くのおじ2人の家に向け込んで変な人が家にいるとか言うので、家に連れて帰っていて、行方不明になった。
27. 認知症の妻は入院中で、週に1回病院まで行っていた。（自転車で片道30分）
28. 同敷地内に別棟で息子家族が住んでおり、通って介護をしています。
29. 両親と弟（未婚、統合失調症）で住んでいた。別の世帯の長女（私）が車で10分くらいのところに住んでいて、昼間は訪問していた。買い物に不便なため、5年くらい前に父が管理していた叔母の家（父の叔母で空き家だった）に、改築して住んでいた。（毎日の様に行き、日中は過ごしていた）
30. 夫婦で暮らしていたが、妻の足のけがで3か月ほど入院することになり、ショートステイで施設に入れたが、退院する予定の前日、家へもどろうとして施設を抜け出し、行方不明になり、2年後死体で見つかった。
31. 安全に暮らしていける状況にはなかったと思います。
32. 長男家族と同居しているから、主に介護しているのは妻が独りで行なっている。

問 20. 薬物の特記事項

1. (薬) ジャヌビア錠、リバロ錠、プラピックス錠、デグレトール
2. きちんと毎日飲んでおらず、のんだり、のまなかったりしていました。
3. おこりっぽくなったので、途中でメモリーに変更する
4. (当時飲んでいた薬のその他で) プレタール、プラパスタチン、センノシド
5. レビイ小体型の治療投薬をうけていた。
6. 貼り薬を使用していたが、特に改善はされていなかった。
7. 薬がきらいで飲まない事もあった。
8. ドネベシル、リスパダール
9. 心臓と糖尿病の薬が主であった。
10. セロクエルを飲んでいました1粒、あと眠剤を0.5粒
11. 通院により薬をもらっており内容不明
12. じんぞうの薬
13. 最後の回ではない。以前の回、メモリーを服用したら急激に悪化した。
14. 進行を遅らせる薬を飲んでいてはありますが、薬は大嫌いなので、30分以上掛け、本人、家族の心の戦いと成り飲ませるのを止めました。
15. 行方不明当時は糖尿病の薬 アマリール1mg、ジャヌビア 50mg、グリコラン 250mg を20年間程飲んでいて。行方不明になり精神科で現在、レミニール OD12mg、ビタノイリンカプセル、先月よりツムラ抑肝散エキス顆粒を服用中
16. メモリーを飲んだ事があるが体に合わずやめた。
17. 7/26 アムロジピン、メモリー、セロクエル、ツムラ顆粒、レザルタス、リスパダール、8/22 アムロジピン、メモリー、セロクエル、ツムラ顆粒、レザルタス、グラマリール、9/20 アムロジピン、メモリー、セロクエル、ツムラ顆粒、オルメテック、カルブロック
18. 漢方薬(抑肝散)と抗うつ薬(デプロメール)を飲んでいて、行方不明になる1ヶ月位前から抗うつ薬を中止していた。
19. 糖尿病薬、認知症薬
20. クレストール
21. すいみん薬
22. 頭痛があり、薬を処方されていた。その薬が分からず。
23. 認知症をおさえる薬から、異常行動をおさえる薬にかわってから、症状が進んだように感じました。
24. 3か月前より病院を変えたため、症状にあった薬をいろいろと試していました。その為量が変わったりもしました。
25. 行方不明になる2年前までは、糖尿病の薬を飲んでいて、本人が病院にいなくなり、飲まなくなりました。
26. アルコール依存症から記憶障害
27. H18年より糖尿、H8年より高血圧の薬服用。H23年アリセプトはすぐに中止した。
28. 徘徊を防ぐ薬を希望しても、無いと言われて、漢方薬の抑肝散も処方していただき、少し穏やかになった様に感じます。
29. 効能が無いのではと医師に聞いたら「これ以上悪くならないように、飲んだ方がよい」と言われ、気休めみたいに飲ませていたが、副作用の方が心配だった。
30. 薬が多いのではないかと思う。大学老年科2種類、個人医5種類、計7種類。
31. 本人に飲む意思がないので飲まない。
32. まだありましたが、処分したのでわからない。
33. 30年一度も病院に行っていない。
34. 内科を受診していたが不明になる前に通院が終わって出された薬も減ったと聞いた。
35. 降圧剤、便秘薬
36. ムコダイン、プラピックス、サアミオン
37. グッドミンを服用していた。
38. 徘徊などがあったので、夜に睡眠薬を処方して頂く様に、かかりつけ医院に相談してましたが、認知症の進めるからと処方してもらえませんでした
39. 漢方薬を処方してもらっていたが、本人が飲むのを嫌がった
40. 血圧が高く、ドスペロピンを処方されていたが飲んでくれたり、飲んでくれなかったりの繰り返しだった。
41. 薬や注射をたくさんしているため(飲んでいて)全ては把握できていません。(上記の薬はなし)

42. オルメテック錠
43. 新しい薬に変わったばかりだった。
44. 薬の変化、あったと思うがわからない。薬を飲ませる時間が変わったように思う。
45. 糖尿病だったのでその薬を飲んでいて。その他の薬は通院中の医師から説明があったり相談はしていたが変わることはあった。なくなって1年半過ぎてしまいどんな薬だったのかは忘れてしまった。
46. ?形状に問題がある。
47. アリセプトを飲んでいた時は、活動的で遠くまで徘徊していたため、メモリーとレミニール、抑肝散に変えたら落ち着いたような気がした。ただ、寝てばかりいたり、家の中をうろろろする様にはなかった。(アリセプトを服用していたが、医師に相談し、レミニール、メモリー、抑肝散に変えていた時期に、行方不明になる事が多くなった時期が重なる)
48. ドネペジル塩酸塩 OD 錠 5 mg ・アマリール 1 mg ・アムロジピン錠 5 mg ・ディオバン錠 40 mg ・プラバスタチン Na 錠 5 ・アルファカルシドールカプセル 1 mg ・アスパラ CA 錠 200
49. 夜に起きて家に帰ろうとするので、よく眠れるように病院で薬をもらっていたが、名前はわからない。
50. 半年前にレミニールを飲むようになってから、行動範囲が広がったので前のアリセプトにもどしもらった。自分の家(実家)に帰りたくなった。
51. 認知症の薬は飲んではいないが、血圧が高かったので、血圧の薬を飲んでいて。
52. 当時、アリセプトの投薬があったが、飲んでいなかった。昨年認知症状がすすみ、不穏症状が強くなり、Dr. へ相談。漢方薬(抑肝散)をもらうが、飲まないため、服薬していなかったが、通所では飲んでくれるため、通所の時のみ、飲ませる。H26, 12月下旬より、メモリーを服用している。
53. 薬はよく合わないから変えてほしいと頼み変化していたが、私の妹が管理していた為わからない。

#### 問 21. 薬以外の治療

1. デイサービスを週に3回利用していた。
2. 腰が曲がり通院していた。
3. 特に無し。朝デイに行き、夕方デイより帰る。
4. デイサービスにかよう予定でお試し中だった(何か所か)
5. 対応の仕方に気をつけた。「ユマニチュード」について紹介する番組を見て医師やケアマネに相談した。
6. デイサービス、通所介護のみ
7. 一緒にウォーキングや買物
8. デイサービスにむかえに来てもらい、一週間に一度行っていました。
9. 通所介護での運動
10. 家族でよく車に乗って買物に連れて行ったり、畑や庭でできるだけ一緒に作業をしてあげると落ち着くようです。
11. デイサービスで通所していた施設で脳トレ用のプリントを時々書いていた(計算、漢字、間違いさがし等)
12. 急に夜間徘徊になったため行方不明となる。
13. ディケア、ショートステイ
14. 在宅医療サービスを受けたばかりなので、薬もなく、これからのところだった。
15. 先生から好きな事をさせて下さいと言われ、好きな卓球教室や一緒にお菓子作りなどしました
16. 自宅に居た時徘徊がひんばんになり数回行方不明になった。精神薬を強めに飲んでいて寝ている事が多く廃人のようだった。特養に入り薬を弱めて以前のように歩行、食事など自立で出来るようになったが、精神的にはかなり落ち着かなかった。
17. 認知症と高血圧以外は健康状態良好
18. 輸血
19. デイサービスで機能訓練や簡単な足し算、引き算などを行っている。
20. H6年に膀胱がんで手術してから泌尿器科に、現在は3か月に1度通院しています。内科に月に1度通院しています。
21. デイサービスでヨガをしていた。
22. 家族と一緒に出かけた時のことを話すことによって、本人の心安心するように話をする。
23. デイサービスのリハビリ
24. 前立腺肥大

## 問 22. 入院の特記事項

1. 脳梗塞の為 2～3回
2. 4日間行方不明になり始めて入院させてもらう。肺炎、けが、13年春頃より物等を投げ大変な思いをした。今の介護制度は理想ではないでしょうか。これからますます殺人事件など多くなりませんか。
3. 早朝に出歩き、左肩を骨折し手術を行った（H26年1月）。
4. 入院2回、6月、1月、精神科
5. 肺炎をおこし入院したが、ベッドからは落ちるし、つきそいをし、大変な入院生活であった。点滴のくだはもちろんぬくし、目を離せなかった。
6. 脳動脈瘤で11日間入院
7. 転倒して骨折した為（手術リハビリで2ヶ月）
8. 心臓の検査 さ骨下動脈の閉そくで、検査入院した結果、手術できないという診断。
9. 右大腿骨頸部骨折
10. 眠れない日が続き、入院できればとケアマネさんと話していましたが、日中はあまり病状も悪くはなく、特に病院にいくと落着いていたので、困難？しました。
11. 2回、1週間と2日
12. 82歳の時に、急性すい頭症手術した。
13. 健康診断で、(検便)大腸の精密検査が必要になり、一晚入院して腸カメラ検査を受けた際、本人だけでは心配で妻も付き添った。
14. 半年前検査入院していたのですが、入院後1週間目位から認知症の症状がではじめました。以前は物忘れがひどく本人も気にしていました。
15. 2日に1回は、外食、小ドライブ
16. 大腸ガン手術後の定期検査の為の1泊入院
17. 7日間入院
18. 体が丈夫で歩き回るので大へんでした
19. 精神薬を強めに飲んでいたら、誤嚥性肺炎をおこし入院した。
20. 心筋こうそく（ICUに入っていた）、糖尿病
21. 2012年5月22日～2012年5月25日 ストーマ閉塞(膀胱癌術後) 2012年7月4日～2012年7月11日 急性腎盂炎(膀胱癌術後)
22. 行方不明から見つかってその日のうちに保護入院した。(暴力行為があった為)

## 問 33. 徘徊時の特記事項

1. 秋 昼間の時間が短くなる時期、雨の日 行方不明になった。
2. 散歩のつもりで出かけてしまった。時々、夕方まで帰ってこなくなる事もあった。年に2～3回程、季節が暖かくなると出ていく。
3. デイの送迎がら帰り、又、自分でデイの場所に行く。歩いている間に解からなくなり、どんどん歩き遠い所へ行ってしまう。
4. 午前中が多い、天気の良い日、進む事もどりが出来ない。
5. ほとんどなし。4～500m位の所へ一度だけあった。
6. 季節は問わず、寝起き（朝方か昼寝後）
7. 朝から夕まで町内の決まったルートを徘徊するのが常態化
8. 放送してもらったのは2回。早朝に出歩き警察の方から連絡があったのが3回ぐらい。家族が捜しにいつて見つけることは何回もあった。
9. 初めて1人で買い物（ジュースを買いに）へ行行ってよいかと聞いてきたので。
10. 夜間にゴミ出しをして行方不明になる。
11. 自宅から帰ると良く言う!!
12. 徘徊ではなく、車を脱輪させ、人を待っていたが動きだし、山で行方不明となる。
13. 不定期。メマリー服用後急激に悪化。
14. ほとんど毎朝とにかかく出かける。最初の頃は尿失禁、便失禁もせず、しても夕方まではなんとか家に戻ってきました。自分で家に戻る事が出来なくなったのは5～6年前から。
15. 見つかった所がバラバラである。
16. 1～2日間
17. 徘徊というより、家に帰れなくなる。
18. 家の近くを歩いていたので、10分位の時と3時間位の時があった。
19. 通所介護で、送別の車を見送る為に、外へ出かけ様としていた。

20. 足が健脚の為、10K位歩いてしまう。
21. 探しまわり、1Kも離れてない何もない所で、ボーと立っていたり、マンション下で待ってたりしてました。
22. バス旅行で初めての場所に行って、自分がどこに居るかわからなかった。自分の家に帰ろうとして、温泉地をでて、行方不明になった。現在は行方不明になる事はない。
23. 徘徊は一度も、なかった。不明時がはじめて。
24. 行方不明になった年から帰ってこれなくなりました。
25. 毎日散歩をしているので、大丈夫だと思っていたが、何日かに一度位自宅がわからなくなり、時間をかけて戻ってきていた。
26. 雨の日は出ないで、晴れた日、午前中に出かけて行って、帰って来れなくなっていました。(昔、農家だったので雨の日は家の中だったようです。
27. 徘徊もこれまでは、30分程できたくしていたのですが、この日は戻って来ず、母から電話を受け、実家に急ぐ。
28. 自宅に自分で帰れなかった。行方不明は1回のみ。同伴者とはぐれて行方が分からなくなったが、その日のうちに自分で帰宅したのが2~3回。
29. 行方不明までいかないものは、月2回
30. 1回しかないが、突然だったので、答えようがありません。
31. 8月1回。10月2回
32. 前は夜友人と出かけたが何があったのかわかりませんが、夏に怪我をして一人で帰ってきました。今回の行方不明は、散歩にでたが何かあって帰れなかった。
33. 3か月前まで、?夜中に徘徊していたが、デイサービスに行くようになり、夜中に起きるが外に出なくなりました。
34. 話し相手がほしかった様でほぼ毎日デイサービス後に出掛けていた。
35. 妻が入院している病院に毎日自転車で行くが途中で帰り道?がわからなくなる
36. 今回が初めて
37. 徘徊はあったが家族で見つける事ができた。今回だけ夜中で気づけず、探すのが遅れ残念でならない。
38. 当時●の自宅に居る頃は自転車で帰れなくなったり、タクシーで遠くまで行ってしまったり、警察のお世話になって帰って来る事が多かった。施設では外へ出てしまうたび、職員に連れ戻される事が、しばしばあった。
39. 4月~6月のあたたかい頃
40. 当時は毎日知っている土地なら遠方まで自転車で友人を訪ねたり遠出をしていた。一度日が暮れて自宅に帰れなくなり、一人でホテルに宿泊していた。
41. 朝方(夜明)が多かった。探し出すと自分の居る場所が分からなかった。
42. 病気で入院して徘徊。家では無し。デイサービスでは家に帰ると言っで。
43. 目を離れたスキにスタスタと歩いて、デイサービスの人など「プロ」の人がついていてもいなくなってしまう。
44. 父の場合は徘徊に当てはまるのか疑問です。あの日は自分が昔つくっていた果樹園に登って行き足を踏みはずして暗くなってから気がついて山の中を迷ってしまい自分で朝の5時過ぎに1人で家に帰ってきました。
45. 初めてで、目を離れたスキに出てしまい、運悪くバスが来てそれに乗って●まで行ってしまった。
46. ほとんどイマドコサーチで迎えに行く
47. 頻度は気が付けば月日1分後でもありえる。さいわい期間は37時間で見つけていただいた。
48. 頻度は毎日。今は、家から外出できないよう、門に鍵をしています。徘徊時、花、他人の庭の鉢などを持ち帰ってました。
49. 3か月ほど、短期に施設入所したが、自分がなぜ入所しているのかわからなくなって、自宅へ戻ろうとして数回、外で職員に見つけられていた。
50. 警察の保護を短期間に2度受け、介護の相談をして手続きを進めていた矢先に3度目の行方不明になり死亡。
51. 玄関を出る時、気づくので不明になったことは一度だけ。その一度が死亡になる。
52. 徘徊ではなく散歩で、毎日朝昼晩、つねに家にいないが、市内であれば帰ってこれる。体力が無くなり倒れるまで歩く。
53. 警察の捜索願い→3回/年。通常はGPSを持たせていて、それを使って操作していた。(毎日、徘徊し、日に2・4回程徘徊あった)

54. 自転車にのっている時が多く、遠くまで行った。

問 36. 介護の特記事項

1. 本人が独りだけで過ごす時間帯があった（田の稲を見に行く等）
2. 母（妻）が1ヶ月前に亡くなり、2～3週間だが1人になった。
3. 行方不明になった当日は、自宅に帰っていて、子がいっしょにいました。
4. 長い間（3～4H）散歩を1人でする事があった。息子夫婦が仕事でいなくなる昼頃には1人で過ごしていた。
5. 特別な介護は行っていないが、通院に同伴する2km以上での車運転時は、同乗するか、先導する程度であり近くの商店への買物等は一人で車で買物に行っていた。
6. 今まで1度も徘徊などはなかったため、本人が独りだけで過ごす時間帯があった。
7. 送迎のデイから帰り、その後、家の周囲を歩くうちに遠くまで行ってしまふ。
8. 朝4：00頃、眠ってる時に。毎回居るか、見ることが多い。
9. 独りだけの時間もあった。
10. 早朝で2月、窓から出ていた時があった。
11. 家族で協力して行っていた。
12. 昼間は本人独りだけで過ごしていた。
13. 日中は本人が独りだけで過ごしていた。
14. 介護はしていなかった。認知症と気づいていなかった。
15. 介護者は何もできなくなった。
16. 冬は比較的少ない。朝食後すぐに出掛ける。一日中戻って来ない。介護負担が非常に大きかった。目が離せず、何もできず大変（当時は母も心臓が悪く、自宅介護をしていたので大変でした）。
17. 義母は大事に思わず、認知に関して理解が無い。危機感もないため介護が手薄。私が留守の間に出てしまふ。
18. 介護は長男（子）の嫁、通所デイケア週3日～4日、利用負担が大きく精神的にきつい。
19. 単独で介ゴ。失禁、破かい、失火寸前などの始末中に外出する。もはや介ゴの体力は限界だった。
20. ヘルパーが朝、昼、夕、1時間づつ、姉2人がヘルパーのいない時間に1週間に3～4日、私が1週間に3日ほどとまっていた。
21. 夕方は家事等で、目のとどかない事があった。
22. フロ介助（みはり）、同居の子、嫁孫はそれぞれ仕事、学生で不在のため、本人一人の時間が多かった。
23. AM11時～8時（翌日）
24. 本人を独りにしない為に、父と長男で、時間分担にて、付き添うようにしています。
25. なるべくみんなで行ってましたが、日中は障害者の兄（精神疾患）が朝、夜は私。土日は父と兄が見てました。
26. その当時は、自立していて介護する事はなかった。多少物忘れは多くなっていただけであった。
27. 介護負担より、外出してしまう恐れが心配。
28. 息子。息子嫁
29. 当時父が入院していたため、私が独りでみていました。仕事の間はデイサービスに通ってもらっていましたが、帰りがたがってしまい、その後、デイサービスには通えなくなり、のちショートステイを利用していました。
30. 本人が独りだけで過ごす時間があつた。
31. 介護者（配偶者）の方が、認知症がひどいため、生活の中心的事は、本人がこなしていた。（買い物主）
32. 本人の身体状態と要介護度が比例してなかったため、介護する方は辛く感じました。仕事を辞めて県外から引っ越して同居して介護しましたが、なかなか再就職もできず、24時間見守り介護は在宅では負担大きいです。
33. 本人は介護されるような状況ではなく、普通に生活できていた。
34. 当時、まだ介護に手はかからなかったが、徘徊するために外にでないよう目を光らせていることが大変でした。
35. 歯医者に行くにも一緒につれていくなど、常に一人になることを避けていたので、いつも時間を気にしてストレスになった。
36. 小規模のスタッフが送ったあと（17時）家族が帰るまで（19時）、ひとりで過ごしていた。
37. 特に配偶者の言うことを聞かなくなった。
38. 本人の長女、長男の嫁、孫が介護していた。生活の時間帯がなかなか合わない。
39. デイケアに行っている時以外は、基本的に本人独りで過ごしています。

40. 在宅診療サービスを受けていたが、医師の判断によっては、入院や施設の考えもしていたが、本人は、住所、氏名、車のナンバー自覚していて、お金があるとき（無くなるまで）は、近くのコンビニに一人で買物をしていた。
41. 本人が自由な時間に自由に散歩していた。
42. 体は丈夫なので、手がかからないため、ほっとしている間にいなくなった。耳が全く聞こえない為。介護の負担はないが、話相手はしづらい。
43. 実妹と住んでいたが実弟が病院など付き添ってくれていた。私(子)は休日必要な物の買物に行く。
44. 子の配偶者
45. 夫も99才と高齢だった
46. 直接介護まではなかった、見守り程度。
47. 介護者はフルタイムで働いており、昼間は一人で過ごす。介護者の勤務は時間帯が異なる
48. 本人が独りで部屋で過ごしていた。別の部屋に配偶者はいた。
49. 介護の仕事をしているので、帰宅後も介護でゆっくりする時間が少なかった
50. 特養に入所していたので介護員が24時間介護を行っていた。本人の息子の嫁(私)の勤務する特養だった。
51. 配偶者が一緒にいてもかかってに外出してしまう
52. ケアサービス等は、本人が一切興味を示さず拒絶状態だった。一人暮らしに戻る願望が強く、何キロも歩いてしまうほど足腰が丈夫だったため、行方不明を繰り返し、介護負担が非常に大きかった。
53. 配偶者が日中働いていたため、一人でいる時間が多かった。
54. 入院中で看護師に頼んでいました。1度有りましたから。
55. 介護負担が大きかった。
56. 当時は行方不明者(父)と寝たきりの母(要介護5)と私の三人暮らしでした。午前中父を病院に連れて行き午後2時頃から私が「疲れたので少し寝るね」と父に言って寝てしまっただけで起きたら夕方暗くなっても父の姿が見あたらないので1人でさがしたのですが、身内に連絡して警察にお願いしました。
57. 足が丈夫で歩くのに不便がなかったので時々認知症の状態になってもずっとではないので要支援1で深刻ではなかったが薬が変わり、急にひどくなったのか、気分がよくなったのか一人でも行動できると思ったのか出かけてしまった。
58. 交代で行っていた。デイサービスを利用していた。
59. 母が足が不自由なため、また耳も遠いため、いつ外出したのか(父が)わかりにくかった。
60. 長男の嫁
61. 短期入所の時の職員
62. 長男と長男の妻
63. 近くに住む者が多い。一日1回無事であるかどうか確認する程度。
64. 施設内にて(時間不明)16時・・・?、外に1人で出た。
65. 息子家族と同居しているが、子供も小さく、関係性が良くなく、ほとんど妻一人で、介護している。
66. 夜中、早朝から動きだすので、気がつくと家にはいないのでケアホームに送れない、迎えにきてもらえない。
67. なるべく一人だけにせずにドアロックできる様にした。
68. デイケアから帰って来て(PM4:00)、食事の見守りのヘルパーさんが帰ってから(PM6:00)は独り、私たちが帰宅するPM9:00頃まで。
69. 介護なし
70. 介護者その他は、子の妻
71. 介護者が朝食を作っていた時に家をでた。GPSを持たせていなかった。

#### 問 37. 行方不明の危機の認識の特記事項

1. 道がわからなくなる。午後4時に家にはいない時は、携帯に電話して探すようにしていた。午後6時にも帰らないので警察に捜索願いを出した。だまって家を出ていくので目が離せない。
2. 息子、嫁が危険と感じていた。散歩が長いため、年1回は、いつの間にか家を出て夕方まで帰ってこなくなる事があったため。
3. 今迄に徘徊等は実績がなかったので、突然の事であり、びっくりした。
4. ちょっと目を離した間に出かけてしまう。時には自宅の前を通り過ぎる時もあり。
5. ショッピングモール等で行方不明になることがあった。
6. 1度だけ私がトイレに入っていた時に、外へ出ていき、4~500m位はなれた畑にいた事があった。私が畑へ

行ったと思い、「さがしに行った」と言っていた。他は外へ出て行く事はなかった。

7. 1度徘徊があってからは2階ではなく同じ1階で寝るように。玄関の出入りを気にしていたため。
8. 肩の手術後、歩行が短距離になり、つきそいをしてもらって家の周りを少し歩くだけになっていたので予想外であった。
9. 隣近所では1時間位で帰ってきた。
10. 認知症が進んだ時に、近所を散歩していても、ちゃんと自宅に帰って来られるか少し不安があった。
11. 認知症が進むにつれて、いつか徘徊するかなあと子供たちが思っていました。
12. いつも心配で、家族は自分の生活ができなくなった。
13. とにかく、ちょっとした間に外に出る。夜間はもう大変でした。とにかく家の門より外に出たら自宅に戻る事がわからない為、目を離すことができずに本当に疲れた。夜間は部屋の本人の側に寝てたが、ちょっとした間に出てしまう。3年位前からは、現在、夜9時頃、医者から処方して頂いた安定剤を服用させてから休ませる様になっているが、時々それも効かずに何回も起きては、わけのわからぬ事を発して困ることもある状態です。
14. 車の運転はすぐにやめさせた。キーをとり上げてGPSを持たせる。常に外に独りで出ない様、気をつかう。
15. 友人宅に遊びに行くが、帰り道が判らなく成っていた事を後で知った。行っていた友人は知っていたようだ。
16. 1人でだまって家を出て行った。
17. そわそわしていた。あたたかい日だった。
18. 私が交通事故が心配でした。
19. 認識し、二重カギ等対応努力はしたが、対処しきれなかった。
20. 徘徊はほんのわずかの間にふいに家を出て行くものなので、常に気にしていなければならない。どんなに注意しているつもりでも、完ぺきに見守るのは難しい。
21. 一人で買物に出る事があった。
22. 本人から「自転車でかなり遠くまで行き、家までの帰り道がわからず、2～3回、人にたずねて、やっと帰ってきた」というのはきいたことがあります。※わからない道ではないはずなのに・・・と思いましたが、だんだん忘れてきたのかなと・・・
23. 母が、午後から夕方の時間帯にかけて外出しようとする為。
24. 初めての徘徊があってから、本人にGPS付携帯電話を体に付けて、介護者の携帯電話に相手の位置確認が出来るように設定して管理していましたが、ケイタイ電話を外されてしまい役立たずになってしまった。
25. 行方不明になる3か月くらい前から、勝手にでてってしまう事がひんぱんに増え、注意をしていた。夜も出て行こうと何度もするのを止めていた。
26. 自殺願望が強いため、一人にすることが心配であった。
27. 長男、本人が通所介護から、帰宅後に送迎車を追いかけるのを何度か確認していて。
28. 仕事が休みの日は、外に連れ出すようにしていましたが、自宅からはなれた場所で目を離してしまう事がこれだけ、危険なことか、考えが至らなかったのが原因でした。
29. 子がたびたび帰り道に迷う事があった点
30. 鍵をかけたくなかったので、出入り自由にしてしましたが、朝早く一番忙しい時間帯に出て行ってしまわれて探し回るのに半日かかったこともあり。それ以外鍵をかけるのを検討しました。ひと晩帰ってこなかった時は、交通事故や電車の事故を心配しました。この件で鍵をかけることにしました。
31. 近所の人から、たびたび徘徊か、散歩かわからないがといわれていました。
32. 時々、家族にきづかれぬように外出。何時間も戻らないことがあった。
33. 天気が良くても雨が降っても関係なく、外出して徘徊をしたがったが、毎日同じコースを歩いていたので（一緒に歩いてみて解った。少し安心していた。だが近くの人で35km先の場所迄行っていたことを知り不安だった。
34. 今まで戻っていたか、CVやスーパーに行った。
35. 行方不明になる前数回徘徊しており、自分では家に居る事ができなかった。
36. 目的を持って外出していたので、突然の出来事でした。
37. 夕方帰宅できていたのが、暗くなっても、帰ってこれなくなっていた。
38. 携帯電話を身に付けさせるよう、警察の方に、助言されたが、本人は持つ意味がわからず、使用方法もわからないので、もたせられなかった。視力がほぼなくて、白内障の手術もできず困っていた。
39. 毎日「帰ろう」と言われるので、見張っている。
40. 方向がわからない。玄関に車をつけ降りても玄関がわからない。家の中で部屋を間違える等。
41. 一度行方不明になった事があったから。

42. 長男妻、長男子
43. 近所、同じ町内の方が色々な場所で見かけると連絡をくれる事が度々あった
44. 自転車で出かける際は無事に帰宅できるか心配であった
45. 夜は父と一緒に眠っていたが、夜中に父が母に話しかけたりして、起きる事があり不安があった。
46. 沢山の利用者様のケアを介護員が交代で行なっている為、特別1人だけを監視するのは困難な事であり、皆が首からタイマーをかけ所在確認をしていた。窓にストッパーはブザーをつける対策を行ったりしていたがあらゆる場所から、外へ出ようとしていた。
47. 配偶者の言う事はきかない事が多い
48. 足腰がかなり丈夫だったため、遠くへ行かない様(家外へ勝手に外出しない様) 家内に引き止めておくのが不可能に近い状況だった。
49. 新しい職場へ行くと、方向が分からなくなっていた。
50. 病院で入院中で1度目の入院の時も有り、注意をお願いしていましたが。
51. 慣れた場所は大丈夫だったが県外にみんなで行った時、迷子になりそうになり、気をつけなければと思っていた。だが、いなくなった時は前にも一人で乗って帰った事があったので、家に帰る道はわかっているから大丈夫だろうと思っていた。軽く考えていたことが一番の後悔です。最初に気づいた時から1年たっていたので急激に症状が進んだのかと、後で悔やんでいる。
52. すぐに実家に帰って、かつてに上がり、仏壇にろうそくをあげてたりしていた。
53. 幻聴があり「●に行かないといけない」等の発言があった為、出ようとする時には気をつけていたが。(家にいる者全員が)
54. 依然不明になったときは4~5時間でみつかったのだからせばすぐに見つかると思っていた。(行動範囲はせまかったのだ)
55. 出口の方に近づく、デイケアの時間の前、家族の人数がへる時間などの時は気をつけているつもりです。
56. 何をするにも何度も確認を取る。同じ事をくり返す。外へ行きたがる。
57. 自分が生まれ育った土地に帰りたいたくよく言っていたし、落ち着きがなかった。
58. 何回か施設から自宅に帰ろうとして外で連れ戻されていた。
59. デイケア先からいなくなってしまうこともあり、携帯電話の位置情報サービスを受けていたが、電話機本体を持ち出すことを忘れてしまうため制約が多かった。
60. (私は死亡本人の夫です) 私の友人に二人ほどアルツハイマーのため徘徊される妻があった。不明になられるたびに探し歩くのに、みんなが苦勞していました。そのことがあるので、私も妻が不明になった翌日は、もしやもうだめなんではないかとかくごはしていました。
61. ケアマネジャーと相談してGPSをベルトに付けた。
62. 玄関のカギを5カ所にしていた。
63. たまに夫と少し遠くへ散歩した時に「ここがどこかわかるか?」という質問に「わからない」と答えていたらしいので。
64. 体が元気で丈夫だったので、自転車で一人で外にでる方が多く、予定の時間に帰らないと方位がわからなくなり、反対の方向に行ってしまうようになって、通りの人が親切にTELして下さいました。

#### 問 40. 行方不明時の状況

1. 就寝中
2. 買物に行ったと思っていた。
3. 配偶者とデパートに買物に行き、トイレから戻って来ない配偶者を探しているうちに脱水となり、自分自身が行方不明になってしまった。
4. 自宅の2階で探し物中。
5. 家に帰ろうとしていた。
6. 駅構内の混雑の中で
7. 外をながめていると思ったら、いつもカギを取り、ずっと居なくなる。一人でテレビの時
8. 朝6:30頃起きたら、ベッドにいなかった。
9. 病院帰り
10. 年賀状の住所を訪ねて出かけてしまった。
11. 徘徊
12. 家に居て急にジュースを買いに行つて良いかと聞かれて
13. ゴミ出し中、方向誤り
14. 夕食前

15. 山で車を脱輪させ、助けを求めて知人の所に歩いて(約1,000m)行き、留守のため、待っていた(約40分)が、もとの場所にもどろうとして近道の山中で行方不明になった。
16. 孫の子守をしていた時、ほんの数分の間に出了られました(玄関は鍵をかけておいたのですが、開けて出られました)。
17. たまには、私が出ていて、母がひるねをしているスキに。
18. 友人宅へ遊びに行ったらしい。行った事を介護者は知らなかった。
19. 用事が有ると言っているまにか出かけた。
20. 起床後すぐ
21. 自宅でくつろいでいた。
22. いつでも
23. 夜中に起き出して出かけた。私(妻)は就寝中で気付かなかった。
24. 会合に出掛けたが出席せず行方不明となる。
25. 失禁衣類交換後、始末中に行方不明。
26. 妻が食事をしている間、家の中を歩いたり、テレビを見たりして、うろうろしていた。
27. 就寝中
28. 近所の神社から(散歩)帰って来て、部屋に居ると思っていたら、いつのまにか外出していた。
29. 夫入院時のつきのいの時
30. 自宅にて、滞在時に、外出する。
31. 睡眠直前の為GPS機能付電話を本人の体から外す、介護者が一日の疲れをとる為に自宅の敷地に出てタバコを吸っている間に家を出られてしまった。
32. 夜中2時ごろ起きて、着替えて(おかしな着方)出て行ってしまいました。
33. 温泉地で、あと15分位で帰る頃、1人でふらっと温泉地をでていった。その日、他の人の風呂道具を自分のだと思い、持って行って注意された。
34. 買物に行った帰り
35. 通所介護から帰宅後
36. 就寝中
37. 美容院
38. 夜中に外出
39. 温泉施設に行った帰り
40. 車で出かけ、行方不明になった。
41. 家からふらりと外出し、帰れなくなり方向を失ってしまう。
42. 庭の草むしりをしている時
43. 通院
44. 祭りを見にいったとき。
45. 配偶者を日課のマッサージ施設へ、本人の運転する自動車ですり届けた帰り道
46. 介護者が家事をしている間に
47. リビングにてTV観戦中
48. 就寝中
49. 留守番役の親戚の者と一緒にいたが知らないうちに出てしまった。
50. 家に帰って一人である時
51. 夜中、トイレに起きた時、行方不明に。
52. 夜12時を過ぎてから
53. 散歩のときと思うが、散歩はいつも決まった行動ではない。
54. 薬をもらおうと、自分で思い立ち、自力で通院しようとしたが、視力も帰る力もなく、迷いこんだ。
55. いつも散歩しているので、戻ってこないきっかけはわからない。
56. 就寝中
57. 寝ていて
58. 友人宅からの帰り。
59. 本人の夫が30分位前に外出し、ヘルパーさんが来るまでの間にでかけてしまった。
60. 自動車運転移動中
61. 寝室に入ってから
62. 買物
63. 自らの自動車運転中にわからなくなってしまう、外出先より帰宅途中から行方不明
64. 夕食を待っていた
65. 目的があつてかどうか不明だが●方向が多い
66. 部屋にひとりである時

67. 夜中に外出。いつもの散歩コースでない川沿いを歩いた時
68. 買い物
69. 夕食時(夕食前か夕食後で介護員の忙しい時)
70. お墓参りに行くつもりで出かけて方向がわからなくなって歩き続けてしまう
71. 就寝直後
72. 自分の生まれた家に行くと言う思い(生まれた県は15km位離れている)
73. 病室内にて
74. 医院に通院の帰り
75. 私(娘)の家に来ている時で私が掃除中だったし、乗客がある為いつものようにのんびりしていなかったから自分もいつも通りテレビを見る気分でなくなったのか、帰ろうと思ったのでは?
76. 在宅中にいつのまにかいなくなった。
77. 自転車で朝いなくなった。1人で朝食前に。
78. 夕方に外へ出かけてくると言っ (少し風にあたってくると言っ) 出かけた。
79. 買い物中
80. ゲートボール中、デイサービス利用中
81. デイサービスとショートを増やすように考えていた。
82. 夕食のあと
83. 妻より注意をうけた後
84. 夜間～朝方
85. 買い物
86. 当時、あまり散歩はしなかったが行方不明になった当日は夫と散歩に行くつもりでいたが、夫に先に行かれてしまい、1人ででかけたらしい。出かける前に「お父さんと散歩に行ってくるね」と言われていて家族は1人で出かけたことも知らなかった。
87. 朝食の出来るのをまっている時。
88. 自転車で走っていて方向を失う。左右方向を間違える。

問 41. 行方不明時に一緒にの人の特記事項

1. 田が3ヵ所にあるので「見まわりする」と言っ出かけたり、だまっ出かけたりする。
2. (愛犬) ペットと一緒
3. 自宅を出る時に自宅に庭に居た自分と言葉をかわして出て行っがはっきり聞き取れず買物に行くと言われた様に思っ。
4. 本人は主屋、私は別室でねていた。
5. 1人で寝ていた。
6. 配偶者は別の部屋で家事をしていた(寝ていたのだ)。
7. 家の内からカギを開け、出られました。午前中(お昼頃)から捜しましたが夕方になっても見つからず通報した。
8. H25・9・27日、私(妻)と畑にいた。5時過ぎ夫は軽トラで帰る。6時近く私が家にもどる。軽トラがない。車庫に電気がついているので夫は1度家に帰っらしい。免許証もケイタイも持たずにいなくなった。ケイサツに連絡する。翌日昼近くケイサツから保護の連絡
9. 家族が一瞬いなくなり、1人になった時、いなくなった。
10. 家からふらりと出ていく。短時間で帰ってくる。
11. 夫、診察中に病院外に出て不明となる。
12. 村の人とのバス旅行で、知っている人ばかりだった。
13. 温泉施設では別々に行動
14. 自宅周囲の草むしりは日課にしている、遠出はしないほうだったので、一人で庭の草むしりをさせていました。時々家の中から介護者が姿を確認してました。
15. 寝室【父一人で睡眠中】。母は隣の部屋で睡眠中。
16. 付き添っで行こうとしたが、「一人で行ける」と怒るため一人で行っしまった。
17. いつもの買物を配偶者としていたが、本人のみ祭りに見にいった。配偶者はバスで先に帰宅。
18. 暗くなっ道がわからなくなったのかな。
19. 就寝中のため、別々に寝ていたとき、
20. 本人は1回で寝ており、子とその配偶者は2階で寝ていた。
21. 寒い日で雨が降っていた。シルバーカーを押していたので傘をさしていなかった。
22. 本人の夫の認知症に対する認識不足。昨日までは大丈夫だった・・・と言っ訳するが、認知症の日々進んでいるのに・・・。

23. 家の者が夕食を作っている時、一人で部屋にいた
24. 犬と一緒に散歩していたので、犬と一緒にだった
25. 家の前で日向ぼっこをしていた。ここ数か月の習慣だったので介護者全員が油断した。
26. 他の利用者様と一緒にだった
27. いつも一人でフラッと出かけてしまう
28. 病院に聞いてもわからない。
29. いつも通り私と二人だった。私がバタバタしていたので落ち着かなかったのかもしれない。家に鍵をかけてない事がいけなかった。
30. 孫がおり、出掛けた時には車でついて行ったが途中で見失った。
31. ●の友だちの家に行き道にまよいどんどん山中の方へ車を運転していき車を溝に脱輪し、だんだんまわりが暗くなって方向がわからなかったのか、山中で凍死で見つかりました。
32. いつもは●の入り口で待ってもらったらそこに荷物もあるから動かないと思っていた。そうしたら荷物を持って数km移動していた。
33. 入所者といっしょ。
34. 地域包括支援センターに相談
35. 家にいたが、別の部屋にいた。
36. 自分と嫁と母といっしょに買い物に行きレジにならんでいる時に見失った。

問 42. 行方不明兆候の特記事項

1. 自分の家に帰る道がわからなくなる。
2. 母の自宅に帰宅しようとした。よるになると落ち着かなくなる。
3. 自分の家がわからない事、本人の名前書く他だめです。友人も名前が思い出せない。
4. 大晦日で、明日、出かけなければいけないか心配していて、いつもより、少しおちつきはなかった。ベッドに入ってから二度起きてきた。私が朝から出かけることは言ってあった。
5. 息子（同居していない）が迎えに来ると道路で待っている事あり。1hで戻ってきて来ないとあきらめて落ち着く事が度々あった。
6. 当時、とにかく、外に出たがるので介護の私（長女）とひ孫と毎日のように散歩はしていましたが、一人でちよっとの間に出られ、夕方まで捜し回ったのですが見つからず、警察に通報し、夕方もすぎ暗くなって来たので、警察犬を依頼した。
7. 冬の間は寒いため家から外に出ることはあまり無かったが、春先になり少し温かい日もあり、外へ出る回数が増えていった。
8. 7ヶ月程前に、散歩に行き、一晩行方不明になった為、「GPS 月みまもりケータイ」を持って頂いていましたが、最後の回の時は、いつのまにか出かけていて、ケータイを持っているか確認できませんでした。
9. 風呂屋に行って、自分のカゴを見つけられなかった。言われた仕事もすぐにできず、時間がかかった。
10. 近くのスーパーだったので、すぐ帰ってくると思い待っていた。（一人で来たかったため）
11. 就寝前、「俺の家に帰る」と、笑顔で3回も言った事に対家族が「ここが家」というと笑顔でうなずいた。
12. お酒を飲みたく、お酒を買いに行く目的で出かけ、道がわからなくなった。
13. 部屋の中でコツコツ片づけをしていた様な気がします。
14. 実家に帰りたいたか、自宅を他人の家だとか言っていました。
15. 徘徊の最初の頃、すぐおこったりすることが多かった。そんな時は、おこって外へ出て行くことが頻繁でした。
16. 当日、以前住んでいた街の秋祭りに二人で見物に行き、大好きな祭りを見た後で、常より興奮状態だった可能性がある。
17. 昼間は散歩に決まった道だったので、すぐみつげられた。みなが寝静まってから歩くので行方不明になった。
18. 外にでたら、自分の居る場所がわからなくなったり、人に尋ねたり、助けを求めることができなかった。
19. 1人でひょっこり出ていくのでいつも心配で玄関の鍵もふやした。
20. 人の名前は子供以外はわからない
21. 現在の住まいは本人の家ではない。
22. カギがかかっているが無理無理力づくで開けようとガタガタさせていることがあった。敷地と道路の区別がなく、庭の続きのようにふらっと歩いている。

23. 以前にも行方不明になった事があり、常に気にしていた。
24. 車の運転中。これまで、行方不明になることは一度もなかった。
25. 以前デイサービスで妻が利用していた施設を訪れ面会に来たと話した
26. 1年前に本人の夫を病気でなくし、その後認知症がすすんだ気がする
27. 散歩に行つて、1時間後に帰宅したりしていたが、心配になって・・・散歩の時は一緒に行くようにしていた
28. 何十年も前の本人に戻り、死亡している妻を探したり、仕事へ行こうとしたり、他のベッドやイスに寝てしまったり、とにかく落ち着きがなかった。
29. 同じ病院で1度有りました。
30. 正月で孫やひ孫が来たりしてにぎやかだった。私が外出していて子供達が家にいて留守番してもらっている時にも家に帰ろうとしたが、誰かが気づいて止めてくれたが、その時すごく怒ったらしい、帰らせると。その当時、もう亡くなっている親友に会いたいとよく会いたがってた。生きている友達(大親友)よりも亡くなった人の事ばかり言っていた。
31. 実家に帰ろうとしていた。
32. 仕事を退職して、だんだん無気力になりつつありました。
33. 自転車には半年乗っていなかった。(庭を歩くのが少なくなっていたが・・・)
34. 施設から自宅へ帰ろうとしていた。
35. 妻の実家は●県の●でしたので、夕方になると●に帰りたいたよく言っていました。母親は死亡しているのに、(迎えに)来てくれないか？(とも)口ぐせのように言っていた。
36. いつも行っていた医者付近へ歩いて行った。
37. 夕方に家に帰らんといかんとそわそわし、外にでようとする。

#### 問 43. 行方不明直前の状況の特記事項

1. 時間の感覚に時々ズレが見られる事があった。朝食の準備する時が早かったり遅くなる時がある、30分位前後する。
2. 前夜、少しおちつきがなかった。
3. まだらな症状で、その時によって。
4. 多分、夜に姪が助けてと言っているとか本人の中でいろいろな妄想があったので。
5. 今日が何日かわからないこともあった(たまに)。
6. 暴力
7. 現在の居住地には5年前に引っ越してきたが、前に永年暮らしていた所にも戻れない日が何度かあった。
8. 認知症がさらにすすみ、要介護5となった。
9. 半年前に骨折の為2ヶ月入院して認知症状、身体機能が悪化していた。
10. ごはんを食べたのに、食べてないと言ったり、誰とも約束していないのに、していると出かけようとしていた。
11. 気に入らないことがあると、帰ると言つて、家をでてそのまま。GPSでさがしだすこともしばしば。
12. もの忘れ有り、新しく覚えることも難しく、いつも行くスーパーやレストランのトイレや出入り口が分からずウロウロする事多かったです。
13. 膝の痛みも忘れ、歩き方が早くなってきていた。
14. たまに散歩して「転んだ」と言っていた。
15. 曜日の記憶ができず何回も確認していた。
16. 記憶障害、見当識障害など症状はあるがどの症状が行方不明の前に変化したとは思えない。
17. 30秒前のことも記憶していない。
18. 医者からせん妄状態だと云われていた。
19. 亡くなった人の事をまだ生存していると思ひ所在を聞く
20. 物がなくなると家族が盗んだと疑う。同じことを何度も言う。
21. 実家に帰りたいた言うので、実家に連れて行つても帰ると言う様になった。
22. ●の自宅→特養(緊急ショート)→●入院→●の特養入所
23. 家に帰るつもりか？
24. その頃家をリフォームして息子夫婦と二世帯同居する話が進んでいた。不明になる日も家のメーカーが来る日だった為バタバタしていた。
25. 耳がぼぼきこえていなかった。(たまにきこえる声もあった)農業をしていたが行方不明になる2年前くらいから動かなくなった。記憶障害などはなかった。

26. 毎朝見ると、いつも居るソファの所のテーブルに食器類他（タオル等、空き箱等）沢山並べてある。
27. 物わすれがひどかった。
28. 嫁が脳こうそくで入院し1週間前に退院してきたばかりでその2週間前に本人が病気で3日間入院して退院して来たばかりでした。

問 45. 病気・怪我の特記事項（選択肢5の内容を含む）

1. 腰の曲がり
2. 食欲が低下し、体重がどんどん減少。
3. ひん尿やぼうこう炎
4. 睡眠が浅く、落ち着きがなかった。
5. 夜に妄想が出ていた。人がしゃべっている（妹達→子供）が、ぶつぶつ文句を言っているとか。
6. 糖尿病、高血圧等
7. じん臓が悪くなったため、食事が少なくなった。
8. 2年前、膀胱がんの手術をし、腎臓も悪くなり、薬を飲めば下痢をするため、薬も飲まず食欲もなかった。
9. 身体は健全
10. 現場をみていないが、多分、前のめりに歩いているうちに転倒してひたいを切り、外科に行き治療してもらった（切れた所を縫ってもらった）。
11. 水分をとらなくなった。
12. 脱水で3回病院へ、その度、レベル低下を起こしていた。
13. 転倒、顔ケガ
14. 寒さや暑さの感覚があまり無いようだった。歩くのがゆっくりになり、転ぶと起き上がれないことがあった。
15. 転倒して歯を折った。
16. 指示が入らなくなった。
17. さざんかの毛虫？にふれ、全身におできが出てかくため、なかなか治らない。
18. 脳梗塞（60才）心臓バイパス手術（75才）胃がんの内視鏡手術と三大疾患を体験。若い頃の酒量やタバコ愛飲が影響したのかも（？）脊髄管狭窄症。
19. 認知症に気付いた時体重が激減、大腸ガンの発見、手術した。
20. 外に出ようとするのが減った。
21. 絵入れ歯だが歯を入れずに食事をとる、歯は色々な場所に置き忘れる
22. 食事をすすめるが食べたと言って拒否、体重が減り心配しての声かけにも拒否
23. 歩行にふらつきがある様になってから、転倒が数回あり、腰の骨を折ったりしていたが、安静にしている事はなかった。
24. 不明になる2年前くらいに転倒して手首を骨折した。
25. 徘徊から帰って来るといつもあとから打ち身が出来ている。
26. 肺炎。転倒して頭を打った。
27. うつ病
28. 糖尿病
29. 糖尿病
30. ペースメーカーをしています。
31. 脳出血
32. 皮膚疾病

問 46. 行方不明対策の特記事項

1. 母が亡くなったばかりだった為、親戚、兄弟で注意はしていた。
2. 家のまわりだけを散歩していいよと話していた。
3. 3時間さがして見つからないと、行方不明に出しました。
4. 携帯電話やGPSを持たせようという試みは失敗。戸締りはとじこめられたとパニック/興奮を高めた。
5. いつも目を離せなかった。鍵を増やす等したが効果なし
6. 今、考えてみるとセンサー設置、SOSネット、GPSなどの対応をしておけば良かったと反省してます。
7. 急速に進む状況のなかで対応策の知識不足で困惑し切った。
8. サッシは工務店にきてもらい、（一部）あかないようにビスで止めてもらった。家族は不便にはなった。
9. 睡眠直前の為、外してしまった。指輪方式のGPS位置情報があるならば、外されるようなことがなかった。

10. あまり、拘束せずに見守っていた。
11. センサーをとりつけようと思った前日に行方不明になりました。
12. 車に付けていた。
13. H25年10月から夜はロックを完全にし、外出できなくした。しかし、家でのうろうろがふえた。
14. カバンの中にGPS付携帯を入れて、外出時持ち歩くようにさせていたが、持たずに出かけることが増えたので、洋服に名前、住所記入しました。
15. 住所、氏名、電話番号の記した名札をさげていた。
16. 一度徘徊したので、以後GPSをつけたり見守りを完全にするなどして、その後一度も徘徊はなくなった。
17. 昼はなにも行っていなかった。夜間のみ戸締りを厳密に行っていた。
18. 徘徊しているのを見つけて家まで連れて帰っていただきました。
19. 万一の時のために、そろそろGPSを持たせた方がいいかなと思っていた。
20. 出て行かれないように玄関に鍵を増やした。
21. いつもはいているサンダルに鈴をつけた。門扉のドアノブに鈴をつけた。門扉を針金でしばった。
22. ケイタイ電話をわすれて外出
23. 検出器の購入を検討していた
24. GPS自分で外した。
25. 自転車のサドルにGPS。インターネットで防犯カメラを買って車庫、台所、寝室の3カ所に設置し、定点観察。
26. 母が亡くなって近隣の方に、前日の様子など聞いたので、早くから近所の方にかわった事があつたら教えてもらえる様をお願いしていればよかったと反省している。
27. 入所した特養は、1階建ての平屋で古い施設なので、対策にも限界があった
28. 外出する時は、行き先をメモするようにさせた。
29. 深刻な状態だという認識が足りなかった。正直家のリフォームの件で振り回されていて注意が足りなかった。
30. 背中にまいごふだをはりつけ、他の人から認知症であることをわかってもらおうとした。
31. 自転車もしばらく使っていなかったの、たまたまカギを新しく替える為に、1日だけカギをかけていなかった。そのタイミングで自転車で行方不明になった。
32. キッズ携帯を使って、位置の確認をしていたが、本人が持っていなかったりして、使い物にならなかった。

問 49. 警察以外の捜索活動参加者（選択肢7の内容を含む）

1. 携帯に電話する（本人のズボンにくさりできれいにとりつけてある。生きていることはわかるが、どこにいるかは本人が言えないのでわからない）、家族に連絡して探してもらう、警察に捜索願いを出す。
2. ケーブルテレビ、防災無線等、ポスターをつくり配ること等、手をつくした。
3. 親族
4. 家のまわり、いつもの散歩コースなど。
5. 知人、友人等
6. 町内会、主に役員の方々
7. 自宅の2階の部屋内のビニール袋の山の中にうもれていた。
8. 他市の警察から連絡が警察にあり。
9. 警察
10. 夜中にいなくなり翌朝に見つかったため、他の応援は頼まなくて済みました。
11. 朝起きたらベッドにいなかった。私1人で近所まわりを1時間位さがし、その後、警察、消防団、みなさんで捜索してもらいました。2日間してもらいました。
12. 発見できたのは4日後です。おとなりとか、近くの物置とか見ていただきました。●公園などよく行くので、皆様が重点的にみていただき、4日目にそばの方がケイサツに連絡してくれました。13年夏だったそうで命だけは助かりました。皮フは化膿、肺炎でやっと入院することができました。何回も徘徊しているのをお願いしましたが出来ませんでした。その様な時は何とかありませんか。本当に泣きました。
13. 地元消防団の方々が2日間捜索して下さいました。
14. 隣組の方が、おばあちゃんが「ウチにきてるよ」と教えてくれた。
15. いなくなった後、電話をかけてくださった人がいたが、配偶者は寝ていると思い込んでいたので、気にしなかった。その後、いないことに気づき、家族で捜したが見つからなかったの、届を出した。町内放送され、捜索していただいて昼前に発見された。

16. 警察の方が来て、うつ病であると伝えたら警察犬を呼んでくれて捜索してくれました。夜 10 時頃にきてくれたので、夜遅くまで近所を探してくれました。
17. 防災無線の使用
18. 市の??、近隣、懲戒
19. 主に自宅周辺の場所から近隣の町会へと範囲を広げ捜索しました。
20. 警察、消防（消防団含む）、自治体職員、友人、知人、●救助犬協会。行方不明後、11 日目に死亡していた。●救助犬協会と知人友人には、特別に協力していただき感謝している。のべ約 1400 人。
21. 当日、昼頃に家を出てから、介護者とひ孫とで捜したが見つからず、4 時過ぎに警察に依頼したが捜せなかった為に、警察署の方の提案で暗くならないうちに犬を要請し捜した方が良いのではと言われ警察犬を頼んだ。が、警察の人が見つけて下さった。
22. 主人が仕事のため、母は無力。私が 1 人で近所を回る。警察にお願いするしか手段がない。→行方不明者のメール、地域不明者放送をお願いする。
23. FM放送利用、コンビニ等への顔写真を作って訪ね人として貼ってもらった。
24. 私と警察が主でした。私の電話番号を身につけておきましたので、他人からのしらせもかなりありました。
25. すぐに警察に届出、有線放送も依頼実施、ケアサービス、自治会、SOSネットワークなども協力してもらい、「訪ね人」のビラも作り配布。又、防犯カメラのチェックなど、いろいろな捜索をした。地方局のラジオ放送もしてもらった。
26. 親戚
27. 夜にかけての捜索であった。警察は近隣の地域を広範囲にわたって探してくださり、ラジオによる放送もあった。近所の住民や消防団は主に近くを探して下さる。夜 10 時頃、捜索は打ち切りとなり、翌朝早く再開する。明るくなったので近所の方がすぐに発見して下さる。
28. 夕方に行方不明になり、夜間に警察に届出、深夜に消防団に相談。捜索依頼した。
29. 警察様に大変御世話になりました。
30. 顔写真をのせたカラーコピーを作り、コンビニをまわり、お願いして貼ってもらった。駅でチラシを配り、情報収集を行った。
31. 家から離れた【高速を使って 2 時間半くらい】場所で、もう夜 9 時くらいだったので警察の方のみとなった。届けをだしてからは地域のネットワーク利用。
32. 地域防災センターからの放送
33. 市外でいなくなったため、放送してもらい、それをきいていた親戚が、それぞれ探してくれた。
34. 他の介護施設の方が異変に気づき、保護して下さったこともある。
35. 警察、消防団、近隣住民、警察犬、捜索ヘリ等、総勢 200 名の方が父の捜査に関わってくださいました。
36. 警察のアドバイスで町会長に捜索依頼をしたが、消防団への依頼は個人からは無理で町会長からとなり、警察の活動には、限界があることを知り、SOSネットの不備を感じた。（創作には協力に対する謝礼金がかなり掛かった。
37. まず、私（長女）が探し、見つからなかったもので、行方不明届けを警察にお願いして、その間ケアサービスの方が自転車、バイク、自動車を探してくださいました。警察にお願いしている間、私も探していると「見つかりました」と、警察の方からけいいたい電話をいただきました。
38. 家の近所のコンビニなどに連絡し、情報をきく。
39. 10 時ごろ出かけたのに、昼過ぎても戻ってこないで、3 時頃に交番に行き、翌日に警察に行方不明届けを出し、捜索願いをだす。
40. 町の放送を流してもらった。近所の方 20 人位で、手分けして山も見てもらった。
41. 市の消防団、団地自治会、老人会
42. 今までの行方不明の中では近隣住民やSOSネットワーク、ケアマネージャーなど、いろんな方にお世話になった。
43. 3 台の自家用車で路地の 1 本 1 本を通り捜した。昼前から夜まで捜し、すごく疲れた。3 度目ともなると泣きたい。もう死んでくれ…と思った。警察の方々の責めない態度にとっても救われた。
44. GPS でチェックした場所が河川敷だったので慌てて警察に連絡、パトカーが出てその周辺を捜索。家族も一緒に車で捜し回る。
45. 自転車は使用していなかったことから半径 1 km 以内を捜索
46. 近隣住民から、水門を開ける様に提案があり川から発見された。それがなければ当日の発見もなくそのまま海へ流れていたかもしれない。皆様の捜索のおかげで発見でき感謝している。
47. 当日：警察、警察犬 2 日間位；消防団、近隣住民 発見されるまで；家族、介護員 本人のチラシを配ったりもした。地元の警察の配信するインターネットは皆が見ていたようです。
48. 夜中に警察犬で捜索した所、山（昔の果樹園）に行ったらしかなかったので、朝（8 時頃）から警察と消防団の方で捜索する予定でした。朝 4 時半頃から身内（上記書いた 6 人）で山に登ったのですが、本人は朝 5 時過ぎに自分で家に帰ってきました。

49. 最初はわからなかったので私の家のまわりで不明になったと思い警察犬にもきてもらい捜したが道路でにおいがなくなったし見た人が道路だったのでバスに乗ったかとも思い、バス会社のビデオを見せてもらい、バスに乗っているのを発見し降りた●駅付近の防犯ビデオを見せてもらい、電車の駅付近のビデオも見せてもらった。警察の人と一緒にないと見られないので大変お世話になりました。●駅周辺にビラをはらせてもらい最寄り駅などビラをはらせてもらう。
50. 自転車で行方不明になったので、行きそうな場所や以前に行っていた場所を家族でまわった。届出を出し、町内放送、市内放送してから近隣の方たちが手分けして捜索。
51. 当日は車で歩いていないか捜した。捜索願いを出してから、生活安全課の方と当日の足取りを追ってみたり、川を捜索した。用水路も見てもらった。
52. 徘徊場所とルートがある程度固定されているので時間が問題。
53. H25年5月23日午後5時半ころ居なくなり、良く24日午前3時ごろ警察の車で帰宅。
54. 部落で初めてなのでどうしようもなかったが、部落の消防団と地域の消防団2～3日朝と夜さがしてくれました。私の兄貴が10年位前は、消防の署長で退職していたので、いろいろ手配してくれました。
55. ケアサービス従事者（手のあいている職員全部が）さがして下さいました。毎日見つかるまで。
56. 夜間不明になった時は、家族で探してみつからなかった為、警察にお願いする。日中、まず家族で探している途中、①通りがかりの人より保護される。名札を首からさげていたため連絡をもらう。②一人で歩いている所を利用しているディサービス職員より保護される。
57. 毎日いなくなった付近を時間があれば見廻りました。
58. 警察へ届けた後、近所巡回するパトカーの台数が増えたのがわかった。タクシーに協力を呼びかけてもらった。
59. 友人
60. 親族
61. 親せき
62. 友達
63. 地域、警ら団
64. 友人、知人
65. 市の同報無線での一斉放送
66. 親戚の人
67. 親戚・友人
68. 近隣の回覧板や警察・警察の配信するインターネット
69. 本家の人、娘2人、孫2人、婿
70. 親戚の人
71. 親類、本人の友人
72. 親戚
73. タクシー会社員
74. 私の友人
75. 二男夫婦
76. 親族

問 53. 発見者（捜索参加者）

1. ケイサツ
2. 警察
3. 警察
4. 地域の人
5. 消防団
6. 社会福祉協議会の方
7. 警察署
8. 警察官
9. 警察の方が、コンビニとかタクシー会社
10. 警察官
11. 警察
12. 警察、家族
13. 警察官
14. 一般、町職員、警察、消防団他、消防署
15. 警察